

<報告事項④>

はまます郷土資料館の被災状況について

1. 被害発生日時 平成 29 年 9 月 14 日未明
2. 被害の状況

①資料館内外への土砂の流入

資料館裏の斜面が崩れて沢を流れる川をせき止め、荒れた水と崩れた大量の土砂が資料館の内外に流入した。その結果、資料館裏で 1m から 1.5m の厚さで土砂が堆積した。

また、資料館内部にも土砂が流入し、土間及び座敷の床下に 20cm から 40cm の土砂が堆積した。建物内部に流入した川水は最大で 30cm ほどの深さになり土間にあった展示品などが押し流された。資料館内部に流入した経路は、資料館の外側に土砂が堆積しているため確認できないが、土砂の量からかなり大きな穴ができているものと考えられる。

②資料館正面石階段の一部崩壊

資料館正面にある石積みの階段に流れた大量の雨水により土台の砂が洗い流され、石階段の一部が崩壊した。

③屋根のゆがみ

資料館内外に大量の土砂が流入し、建物本体を圧迫した影響で、屋根に歪みが生じている。

④資料館横の沢の埋没

資料館裏の喫茶ガル（旧適沢コミセン）直下の斜面が地崩れを起し、崩落した土砂が沢を埋め、これが雨水があふれる直接の原因となった。土砂は沢をほとんど埋め尽くしただけでなく、資料館横の沢水を海に流すコンクリート製の管も埋めている。そのため、現在も資料館の裏から床下を雨水が流れている状況である。

3. 応急工事の概要

①資料館裏及び内部の土砂の撤去

- ・ 資料館外：資料館裏に堆積した土砂の撤去と排水溝の整備
- ・ 資料館内：土間及び座敷床下に流入した土砂を吸引して撤去する

②沢の土砂の除去とふとんかごの設置

沢を埋めている土砂を撤去して河道を掘り直すともに、ふとんかご（砂利を詰めた金属製のカゴ・蛇籠の一種）を設置して流入する土砂を防ぐ。

③資料館屋根の修繕

屋根の骨組みの修正と屋根トタン、野地板の補修。



資料館正面の状況



資料館裏の状況



資料館裏に堆積した土砂



床上浸水で流された床板



土間に堆積した土砂



流し付近の状況



崩れた正面の石段



床下から噴出した土砂



崩れた資料館裏の斜面



崩れた斜面の状況